

## 基本設計の概要

建設地	野辺地町字 野辺地 地内 (本町地区)
敷地面積	約4,020㎡
延床面積	庁舎 計2,990.62㎡ (1階1,009.87㎡、2階999.07㎡、 3階 981.68㎡)
	車庫・倉庫 計560.96㎡ (1階249.23㎡、2階311.73㎡) (車庫内収容台数8台)
構造	鉄骨造 3階建
駐車台数	計64台 (うち、車いす使用者対応2台 車庫内8台)

## スケジュール

R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
実施設計			
	建設工事		
	新庁舎完成、一部供用開始		
		全体供用開始	

※配置・平面図は先月号折込の「新庁舎かわら版」もしくはホームページを御覧ください。

# 新庁舎の基本設計がまとまりました！



イメージパース図

野辺地町新庁舎建設基本構想(令和2年5月修正)及び新庁舎設計業務公募型プロポーザルにおける技術提案の内容に基づき、野辺地町らしく、永く町民に親しまれる新庁舎建設のため、以下の通り基本方針に沿って基本設計をまとめました。

### コンパクトで効率的な庁舎

- ・コンパクトで断面の凹凸が少ない3階建(庁舎棟3階建、車庫・倉庫棟2階建)とし、効率的に必要なスペースを確保します。
- ・中央に階段、エレベーターを設けることで廊下等を短縮し、庁舎のコンパクト化を図ります。
- ・効率的なデスクレイアウト、執務室のゾーニングにより、省スペースで働きやすい執務室計画を行います。
- ・町民ホールには可動間仕切を設け、様々な使い方に対応できるよう計画します。

### 歴史を尊重し、町の記憶を繋ぐ庁舎

- ・敷地中央に野辺地城址から愛宕神社をつなぐ軸線を意識した「歴史こみち」を計画します。
- ・「歴史こみち」に沿った建物構成により、かつての奥州街道をイメージした「軒」を連ねるような施設配置とします。
- ・3つのボリューム(まとまり)が並んだような外観計画とすることで、行在所や土蔵との連続性を生むと共に、近隣住宅等に対するの圧迫感を抑える計画とします。
- ・行在所、庭園と庁舎が一体となって魅力的な場所となる外構計画を目指します。

### 災害に強い庁舎

- ・新庁舎は鉄骨造とし、防災拠点として十分な耐震性能を備えた庁舎とします。
- ・2階には災害対策本部を設け、危機管理機能の強化を図ります。
- ・1階の町民ホールは繁忙期の臨時窓口に加え、災害時の状況に応じて様々な機能転換が図れるよう計画します。
- ・豪雨被害の恐れがない屋上に自家用発電設備等主要設備機器を設置し、災害時の事業継続計画(BCP)を考慮した計画とします。
- ・工事中も防災無線設備の機能が継続利用できる工事計画を行います。

### 町民が使いやすい庁舎

- ・町民利用の多い窓口を1階に集約し、わかりやすく利便性の高い窓口構成とします。
- ・多目的利用が可能な議場とし、町民が身近に感じられる議会とします。
- ・1階に休日開放も可能な町民ホールを計画し、町民スペースの充実を図ります。
- ・各階の中央に町民ラウンジを設け、町民が気軽に立ち寄れる場所とします。
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、誰もが使いやすい庁舎とします。
- ・見通しが良く、安全で利用しやすい駐車場を計画します。